

## 第 5 回社会教育委員会議での検討内容まとめ

### 1. これまでの経過

- \*平成 26 年 2 月 第 33 期第 2 回社会教育委員会議にて「高齢化社会における社会教育」を第 33 期社会教育委員会議の検討テーマとすることを決定
- \*平成 26 年 5 月 社会教育施設の見学会

### 2. 検討にあたっての考え方

- \*対象を高齢者に限定せず、少子高齢化が進行する社会の中で、子どもから高齢者に至る全ての世代とともに、障害者や外国人など地域で生活するすべての人を対象とする
- \*より効果的な社会教育行政を進める観点から、現在の本市の生涯学習推進体制の枠組みにとらわれることなく、高齢化社会において本市の社会教育が担うべき役割や今後進むべき方向を明らかにする

### 3. 高齢化社会の現状・問題点・課題

#### (1) 現状

- \*本市においては、平成 21 年度を人口のピークとして、総人口の減少と少子化が緩やかに進行していく（推定）

#### (2) 問題点

- \*低成長時代を迎え、経済的な豊かさが脅かされる
- \*地域社会を支える地域コミュニティの衰退
- \*社会生活における「つながり」の希薄化

#### (3) 課題

- \*「低成長時代を迎え、経済的な豊かさが脅かされる」を解決するための課題
  - 若い世代に枚方市に住んでもらうための仕組みづくり
  - 高齢者の社会参加による生産年齢の引き上げ

- \*「地域社会を支える地域コミュニティの衰退」を解決するための課題
  - 地域の公共施設（特に学校）を拠点に、そこに通う子どもが参加できる社会教育事業を実施し、事業に子どもとともに子育て世代や高齢者も参加することで地域住民をまとめ、新たな地域コミュニティを形成していく仕組みづくり

- \*「社会生活における「つながり」の希薄化」を解決するための課題
  - すでにリタイアし、地域活動に積極的に参加できる時間を有する地域に住む高齢者が、長年の社会経験や趣味で身につけたノウハウや、社会教育・生涯学習講座、様々な社会的な活動等で学んだ成果を地域づくりに役立てることができる仕組みづくり

高齢者の社会参加による「活力あるまち」と「住みたい、住み続けたいまち」の創出



高齢者が持つ時間・ノウハウを生かした、学校等公共施設と子どもを核とした事業に基づくコミュニティづくり